

目次

序に代えて	芥川龍之介の中国像 ——幻想と幻滅の二重構造——	3
第一章	芥川龍之介と蒲松齡 ——『聊齋志異』を媒介として——	9
第二章	芥川龍之介と惲南田 ——秋山図を媒介として——	33
第三章	芥川龍之介と魯迅（Ⅰ） ——「湖南の扇」と「藥」を中心として——	43
第四章	芥川龍之介と魯迅（Ⅱ） ——「羅生門」の中国語訳を中心に——	63
第五章	芥川龍之介と胡適 ——中国の京劇を媒介として——	79
第六章	芥川龍之介と章炳麟 ——「桃太郎」を媒介として——	85
結 論	93
付録Ⅰ	「酒虫」について ——「酒虫」と原典との比較研究——	97
付録Ⅱ	「杜子春」について ——「杜子春伝」との関わりを中心に——	123
参考文献	157